

発見! 白井の仕事人 92

～独自技術の構築を! 現状に満足しないものづくり～

オーム技研工業株式会社

今回は、白井工業団地内にあるオーム技研工業株式会社を紹介します。
取材に応じてくれたのは代表取締役社長 滝沢謙一さんです。

現社長の父である創業者の滝沢光市さんが、ブロー製品を成形する会社に勤務した経験を活かして、金型を開発・製造するため、昭和49年に船橋市薬園台でオーム技研工業を創業。時代を牽引するように加工の機械化を率先して導入しました。

その後顧客が増えてきて住宅街にあった工場では対応できなくなり、昭和59年に白井工場を建設し現在に至ります。平成26年には3Dスキャナーの導入に伴い、専用の第2工場を建設しました。

ブロー製品について伺うと「一般的には化粧瓶やポリタンク、灯油缶、薬品化学容器・工業用容器、更には自動車に使用されるガソリタンクなどの部品、仮設トイレ、ドラム缶など大小に問わず多種多様な分野で使用されている製品の事をいいます。中が空洞になっていることから中空成形製品とも呼ばれています」と丁寧に教えてくれました。

会社の特徴は「2.5～3センチほどの大きな金型ができることです。さまざまなニーズにお応えできるよう設備投資に積極的に取り組み、0.01ミリ単位の繊細な要望にもお応えできる技術や3Dスキャナーで精密なデータを蓄積、解析することで現物と同じである事を徹底して確認できるためお客様からの信頼性が高まっています。」とのことでした。

今後の目標は「今皆さんが大変な時代になっていて、私たちも同じように苦しい時です。そんな時だからこそ新しい事に取り組みたい。いろいろな製品を見たときに『これはあの記事で見たブロー製品なのかな。金型でつくられたものなのかな』と思い出していただけるとすごくうれしいです」と話してくれました。

何気なく手にする容器はオーム技研工業がつくった金型で成形された容器を使っていたかもしれませんね。



ブロー製品を紹介する
代表取締役社長 滝沢謙一さん

☎産業振興課 ☎401-4641

詳しい取材内容などは
地域情報サイト「まいふれ」
に掲載中です。
ご覧ください。

